

延べ7,402人が52企画に参加 日本劇作家大会2014豊岡大会 閉幕



▲スペシャルリーディング「をんな善哉」(左から、柳下 大、岡本 玲、阿知波悟美、渡辺 哲、辰巳琢郎、竹下景子、田中真弓、宇梶剛士、中山 仁、綱島郷太郎) [撮影：田窪桜子]

6月12日から15日まで、日本劇作家大会2014豊岡大会を開催しました。

52の企画に平田オリザさん、渡辺えりさん、竹下景子さん、辰巳琢郎さんをはじめ日本を代表する劇作家・俳優など総勢188人が出演しました。

メイン会場は、4月に開館した城崎国際アートセンター。その他、豊岡市民プラザ、出石永楽館、玄武洞公園など市内各所でさまざまな企画が行われました。

大会運営には、ボランティア67人が参加し、料理や会場準備、受付などに協力しました。

大会の延べ参加者数は7402人で、大盛況のうちに幕を閉じました。演劇にどっぷりつかり、大いに沸いた4日間となりました。

今後、城崎国際アートセンターでは、アーティストの滞在制作を中心としたさまざまな舞台芸術事業が展開されます。

〈問合せ〉生涯学習課

☎23-0341



こうのとりの短編戯曲賞、豊岡市長賞決定！

100を超える一般応募の中から、6作品の戯曲が選ばれ、大会期間中に城崎の街角でリーディングが行われました。観客投票により、その中から1作品が「こうのとりの短編戯曲賞」を受賞しました。また、全52企画の中から「豊岡市長賞」が選ばれました。

こうのとりの短編戯曲賞

西 史夏『Bridge』

この度は、名誉ある賞を頂戴し、本当に有難うございました。

「Bridge」は、大正14年に起きた北但大震災で亡くなった旅館の若女将〈サヨ〉を主人公にした物語です。城崎町では、亡くなった方のうち71%が女性でした。「声なき人の声を言葉にしたい」と、滞在取材で感じ取った気持ちを戯曲にしました。

豊岡という土地と人の力を借りて、この作品を書き上げることが出来ました。お世話になった皆様、声を掛けて下さった皆様に、心から御礼申し上げます。



豊岡市長賞

復活！ゴールド劇場特別公演 二本松企画

『松野井雅ひとり芝居〜万華鏡三景〜』

作・演出：赤澤ムック

出演：松野井 雅、企画：松枝佳紀

「演劇」というものに馴染みのない土地での舞台作りは初めての挑戦でした。そんな私なので、地元の皆様のご協力や、応援あってこそこの市長賞です。豊岡に元々ある、やむを得ない事情で消え去ろうとしていく小さな歴史や記憶に、再び日の目をあて、大勢の皆様に喜んで頂けたことを嬉しく思っています。ありがとうございました。今は、ホームシックならぬ豊岡シックに見舞われています。また必ず訪れたい、忘れ得ぬ場所になりました。



▲赤澤ムック

“演劇と温泉にどっぷりつかった!”4日間



①開会式で演じられた『城崎温泉殺人事件』の一場面②対談：内田樹^{たつみ}×平田オリザ③ミナモト^{ミナモト}『WILCO』④アトリエ劇研^{アトリエ}『舟歌は遠く離れて』⑤街角リーディング⑥智春^{ちはる}路上パフォーマンス⑦玄武洞^{くわんぶどう}上演：世田谷シルク『コウノトリの温泉めぐり』⑧ボランティアスタッフ⑨料理ボランティア⑩永楽館上演：演劇ユニットてがみ座『乱歩の恋文』[撮影：中才知弥(Studio Cheer)] ⑪ピッコロ劇団ワークショップ『あつまれ!ピッコロひろば』⑫渡辺えり講演会⑬鴻上尚史ワークショップ『声のレッスン』⑭閉会式



詳しくは
公式ホームページへ!

※このとり短
編戯曲賞候補
の6作品もお
楽しみくださ
い。

